

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 10 月 6 日

事務事業名		結婚支援事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	020204000285	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	000101	
政策体系	総合計画の施策名	0202 子育て支援及び少子化対策				主要事業	対象	グループ	総合戦略室	
	政策名	02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり				市長マニフェスト				
	施策名	02 子育て支援及び少子化対策				未来PJ事業	対象	総合戦略G		
	基本事業名	04 結婚のおうえん				合併建設計画事業				
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	01	13	01	00	男女共同参画事業			
法令根拠							単年度繰返し (平成21年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
少子化の要因のひとつに非婚化・晩婚化が上げられている。本市においても適齢期を迎えた独身男女の比率が高まっており、大きな問題となっている。このような状況を踏まえ、結婚の相談、結婚への意識を高めるセミナー、出会いパーティーを開催し、結婚を希望する男女の支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 出会いパーティーの開催</li> <li>• 結婚応援セミナーの開催</li> <li>• 独身男女の親、結婚支援者を対象としたセミナーの開催</li> <li>• 結婚の相談</li> <li>• 茨城県、いばらき出会いサポートセンターとの連携、協力</li> <li>• 結婚支援を行うNPO、市民団体への活動支援</li> <li>• 啓発チラシの作成、配布</li> <li>• 婚活をテーマにした研修会における研鑽</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 出会いパーティーの開催</li> <li>• 結婚の相談</li> <li>• いばらき出会いサポートセンターとの連携、協力</li> <li>• 結婚支援を行うNPO、市民団体への活動支援</li> <li>• 啓発チラシの作成、配布</li> <li>• 婚活をテーマにした研修会における研鑽</li> </ul>	出会いパーティーの回数		4.00	2.00	4.00	4.00	0.00
	セミナーの回数		3.00	1.00	4.00	4.00	0.00
	結婚に関する相談件数		15.00	13.00	10.00	10.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
適齢期(25歳~49歳)の独身男女	独身者数		4,458.00	4,460.00	4,463.00	4,465.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
結婚への意識醸成	パーティー参加者		111.00	47.00	50.00	80.00	0.00
	セミナー参加者		111.00	29.00	50.00	80.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	313	140	405	500	0	
	事業費計(A)	千円	313	140	405	500	0			
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	1.00人	2.00人	2.00人	0.00人			
	※へ業務時間	時間	0.00	545.30	0.00	0.00	0.00			
	人件費計(B)	千円	0	1,582	0	0	0			
トータルコスト(A)+(B)			千円	313	1,722	405	500	0		

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)				29年度事業費 予算(千円)			
	08 報償費	50		08 報償費	90			
	11 需用費	29		11 需用費	213			
	12 役務費	1		14 使用料及び賃借料	50			
	14 使用料及び賃借料	7		19 負担金補助及び交付金	52			
	19 負担金補助及び交付金	53						
	合計	140		合計	405			

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する  ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
	結婚応援セミナーの開催 出会いパーティーの開催 結婚の相談	結婚応援セミナーの開催 出会いパーティーの開催 結婚の相談	

事務事業名	結婚支援事業	事務事業No.	20204000285	所属課	総合戦略室
-------	--------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

平成18年、茨城県において独身者の結婚を支援する「いばらき出会いサポートセンター」が開設。  
平成21年、桜川市男女共同参画プラン策定委員より、結婚支援の提案があり、平成22年より本格的に結婚の応援を開始。  
平成25年、内閣府が少子化の要因として未婚化・晩婚化を位置づけ、結婚から出産、子育てまでを一体的に捉えるようになった。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

独身者の親からの結婚相談件数も多く、しっかりとした支援が求められている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

少子化の要因として未婚化・晩婚化は大きな社会問題となっている。国や都道府県、各自治体も本格的な結婚支援を開始。  
相談件数も多くなり、適切な助言や効果的なパーティーを開催していく必要がある。  
個々の事情に合わせた助言等を行う。生涯未婚率は年々上昇傾向にある。常に結婚事情を把握し知識レベルを高めるとともに、セミナーやパーティーの手法も研究し、効果的な意識啓発に取り組む。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input type="text"/>
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input type="text"/>
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="text"/>
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input type="text"/>
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合)⇒具体的な手段、事務事業名	<input type="text"/>
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="text"/>
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input type="text"/>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒																			
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上維持				低下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持																			
	低下																			
(6) 事務事業優先度評価結果																				
成果優先度評価結果																				
コスト削減優先度評価結果																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>